

各病院の主な取組み

各病院においては、専門的機能に応じて新型コロナウイルス感染症の患者を受け入れるとともに、次のとおり、府立の病院としての役割を果たすための取組みや、医療課題に適切に対応するための診療機能の充実に取り組みました。

<令和5年度の取組み>

◆ 大阪急性期・総合医療センター

- 基幹災害拠点病院として、またサイバー攻撃を経験した病院の責務として、ランサムウェアなどにより発生するシステム障害を想定し、医療継続用とシステム復旧用の2種のシステム障害に係るBCPを策定
- 基幹災害拠点病院及び大阪府災害医療コントロールセンターとして、令和6年能登半島地震において38チームの大阪DMATを指揮・調整するとともに、当センター隊員を現地へ派遣し医療活動を行うなど災害医療に貢献
- がん医療の質及びがん患者のQOL(生活の質)向上を目指した手術支援ロボット手術の推進
(手術支援ロボット手術件数:令和5年度 392件 [令和4年度 300件])
- 生殖医療センターにおいて、公的病院として民間病院では実施できない生殖医療(合併症対応、人材教育等)の推進
(生殖補助医療患者数:令和5年度 161件 [令和4年度 117件])
- 高度救命救急センターの脳卒中センターにおいて、door to puncture time(再開通療法における来院から穿刺までの時間)の短縮
(60分以内達成率:令和5年度 46.4% [令和4年度 36.3%])
- 大阪府市共同 住吉母子医療センターにおいて、院内の連携強化による高度医療の実施及び周産期医療の充実
(小児救急搬送患者数:令和5年度 2,197件 [令和4年度 1,966件])

◆ 大阪はびきの医療センター

- 大阪府アレルギー拠点病院として、総合的なアレルギー疾患対策の実施
(成人重症食物アレルギー患者数:令和5年度 66件 [令和4年度 67件])
- 救急外来の設置、小児救急搬送への対応など、救急患者の受入れを拡大
(救急搬送受入件数:令和5年度 2,750件 [令和4年度 2,081件])
- 5月に新病院開院、これに合わせ糖尿病・内分泌内科、腎臓内科、心臓血管外科、歯科口腔外科を開設し、診療領域を拡大
- 地域医療支援病院として地域医療連携を強化
(紹介率:令和5年度 89.0% [令和4年度 80.4%])
(逆紹介率:令和5年度 115.0% [令和4年度 110.2%])

◆ 大阪精神医療センター

- 府内の基幹精神科病院として、措置入院等の受入を実施
(措置入院:令和5年度 18件 [令和4年度 16件])
(緊急措置入院:令和5年度 44件 [令和4年度 63件])
- 大阪府の発達障がい診療拠点医療機関として発達障がい精神科医師養成研修等の実施による府内診療体制の充実
- 依存症治療・研究センターにおいて、薬物・アルコール・ギャンブルの依存症に対する治療プログラムの運用及び効果検証
- 多職種での訪問看護の実施
(訪問看護実施件数:令和5年度 5,417件 [令和4年度 4,843件])

◆ 大阪国際がんセンター

- がんゲノム医療拠点病院として、がんゲノム医療を推進
- 難治がん・高度進行がん・希少がんをはじめとするがん患者への最適な集学的治療の実施
(手術実施件数:令和5年度 4,296件 [令和4年度 4,404件])
- 患者一人一人の症例に最適な治療法の選択や低侵襲ながん手術の実施
(手術支援ロボット(ダヴィンチ)手術件数:令和5年度 525件 [令和4年度 604件])
(ESD内視鏡的粘膜下層剥離術:令和5年度 833件 [令和4年度 913件])

◆ 大阪母子医療センター

- 総合周産期母子医療センターとして高度かつ安定的な周産期医療を提供
(分娩件数:令和5年度 1,899件 [令和4年度 1,894件])
- 新生児・小児に対する高度専門医療の提供
(新生児を含む1歳未満児に対する外科手術:令和5年度 586件[令和4年度 535件])
- 研究所において、原因不明の先天性等新生児・小児疾患に対しての系統的な診断・解析の実施